Air Buggy® COCO

取扱説明書

はじめにお読みください

この度は「AirBuggy COCO（以下､本製品)」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

本製品をはじめてお使いになる前には、必ずこの取扱説明書（以下、「本書」）をよくお読みになり、使用方法を正しくご理解のうえご愛用くださいますようお願いいたします。
また、本書はお読みいただいた後もなくさないように大切に保管してください。

本書では、本製品を安全で快適にお使いいただくために、特にご確認･ご理解いただきたい重要な項目を、以下の表記で記載しております。

危険! この表記と共に記載された指示に反すると、お子様・保護者・周囲の人が「死亡」するおそれのある切迫した危険が及ぶことを示します。

警告! この表記と共に記載された指示に反すると、お子様・保護者・周囲の人が「死亡」または「重傷」を負うおそれがあることを示します。

注意! この表記と共に記載された指示に反すると、お子様・保護者・周囲の人が「軽傷」または「中程度の傷害」を負うおそれがあること。および本製品のほか物的な「損害」が及ぶことを示します。

本製品は、皆様に安心してお使いいただくことを第一に考えて開発された製品ですが、使用方法を誤るとお子様や保護者の方、並びに周囲の人々に重大な損害を及ぼすおそれがございます。

常にお子様と周囲の安全に気を配り、公共のルールとマナーを守って本製品を正しくご使用いただきますよう、お願いいたします。

本製品を通じて、ご家族のかけがえのないひとときを、楽しく健やかにお過ごしいただければ幸いです。

もくじ

お読みください
はじめにお読みください 2
はじめてお使いになる前に 3
マナーを守って楽しいベビーカーライフを 3
使用上の注意 4
製品情報
● 製品の内容 6
● スペック 6
● 各部の名称 7
● AirBuggy 3 in 1 7
● 快適にお使いいただくために 8
● エアタイヤのメンテナンス 8
● タイヤのトラブルシューティング 9
組み立て方
● 本体の開き方・折りたたみ方 10
● タイヤの取り付け・取り外し方 11
● シートの取り付け・取り外し方 12
● フロントバーの取り付け・取り外し方 13
● サンキャノピーの取り付け・取り外し方 14
● ショッピングバスケットの取り付け・取り外し方
● ドリンクホルダーの取り付け・取り外し方 15
使用方法 16
● ベビーカーでの歩き方
● 後輪ブレーキのロックと解除 16
● ショルダーベルトの装着と調整 17
● リクライニングの調整 18
● サンキャノピーの使い方 20
● ショッピングバスケットの使い方 20
● ドリンクホルダーの使い方 21
● リストストラップの使い方 21
● レインカバーの取り付け・取り外し方 22
● ベビートラベルシステム 22
お手入れ 23
● クリーニング
● 保管方法 24
● サポートデスクのご案内 25
● メンテナンスセンターのご案内 25
保証規定 26
免責事項 27

はじめてお使いになる前に

はじめて本製品をお使いになる前には、下記の点を必ずご確認ください。

製品の内容に不備や不足はありませんか？

「P.7 製品の内容」をご確認のうえ、お手元の製品に万が一不備や不足の品がありましたら、本書裏面に記載の当社サポートデスクまでお尋ねください。

取扱説明書をよくお読みになりましたか？

本書に記載された内容を必ずお読みいただき、正しい使用方法をご理解ください。

ユーザー登録をお願いします。

当社ではユーザー様の情報をご登録いただく事により本製品のアフターサポートを提供しております。はじめて本製品をお使いになる前には、必ずユーザー登録をお願いいたします。

登　録　方　法

ハガキからのご登録

付属の「ユーザー登録ハガキ」に、必要事項を明記し、併せて付属の「ライセンスシール」を指定の場所に貼付して当社まで郵送してください。お送りいただいたユーザー様情報を当社スタッフが登録いたします。

パソコンからのご登録

お手持ちのパソコンから、「GMP オンライン登録（http://gmp-intl.co.jp/user）」にアクセスし、必要事項と付属の「ライセンスシール」に記載の「登録番号」を入力してください。
登録完了後は、ご登録いただいたメールアドレス宛に登録完了のお知らせメールが届きます。

携帯電話からのご登録

お手持ちの携帯電話から、付属の「ライセンスシール」に記載の QR コードを読み取り、リンク先のページから空メールを送信してください。 しばらくすると自動送信によるメールが届きますので、本文に記載のアドレスにアクセスし、必要事項を入力してください。
登録完了後は、ご登録いただいたメールアドレス宛に登録完了のお知らせメールが届きます。
※自動送信メールを受信できるように、予め迷惑メール拒否の設定を解除してください。

ライセンスシールについて

付属のライセンスシールに記載された「登録番号」は、ご購入いただいた本製品とユーザー様の情報を紐付けるために必要な情報です。ライセンスシールは QR コードと併せて３枚綴りになっています。 それぞれ下記の場所に貼り付けて、なくさないよう大切に保管してください。
・本製品…フレームなど、剥がれにくい位置に貼り付けてください。
・取扱説明書…裏表紙など、記載内容を覆わない位置に貼り付けてください。
・登録ハガキ…ハガキからのご登録の場合、指定の位置に貼り付けてください。
※ライセンスシールを紛失した場合の再発行はできません。
※製品の出荷時期により、登録番号不要のユーザー登録ハガキが付属する場合があります。

個人情報の取扱いについて

当社では個人情報保護法の規定のもと、当社の定めるプライバシーポリシーに則り個人情報の保護・管理に務め、厳正に取り扱います。詳しくは当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご確認ください。

マナーを守って楽しいベビーカーライフを

お子様の安全を第一に考えてお使いいただくのと同じく、ベビーカーによって周囲の迷惑とならないよう公共マナーを常に心掛けてお使いいただきますようお願いいたします。

- 電車やバスなどのご利用は、他の乗客の迷惑とならないよう、混雑した車両は避けるなどの御配慮をお願いいたします。
- 図書館や映画館など、赤ちゃんの泣き声が周囲の迷惑になるような施設への来場は、極力お控えください。
- エレベーターやプライオリティシートのご利用は、お年寄りや妊婦、身体の不自由な方を優先して、譲り合いの精神を忘れずに心掛けてください。
- ベビーカーが困難な場面では、無理をせず周囲の手助けを求めてください。また、お困りの方を見かけたらすすんでお声掛けをお願いいたします。

使用上の注意

本製品をお使いいただくうえで、特にご注意いただきたい点を下記の項目にまとめています。
お子様と保護者様、周囲の人々に重大な損害を与えるおそれがありますので、本製品を使用する際は、必ず厳守していただきますようお願いいたします。

危険! この表記と共に記載された指示に反すると、お子様・保護者・周囲の人が「死亡」するおそれのある切迫した危険が及ぶことを示します。

警告! この表記と共に記載された指示に反すると、お子様・保護者・周囲の人が「死亡」または「重傷」を負うおそれがあることを示します。

注意! この表記と共に記載された指示に反すると、お子様・保護者・周囲の人が「軽傷」または「中程度の傷害」を負うおそれがあること。および本製品のほか物的な「損害」が及ぶことを示します。

危険! 本製品は１人乗り専用ベビーカーです。
２人以上のお子様を座らせたり、シート以外の場所に乗せないでください。本製品が転倒したり、車輪やフレームにお子様の手足が挟まったりなど、思わぬケガをするおそれがあります。

危険! お子様を乗せたままの本製品からは絶対に離れないでください。
本製品が転倒したり自走したりなど、お子様や周囲の人や物に思わぬ被害を与えるおそれがあります。

危険! 本製品の定める耐荷重 (20kg) を厳守してください。
シートは 15kg まで。その他荷物は 5kg までが本製品の耐荷重です。耐荷重を超えたお子様や荷物を載せると本製品が破損したり、転倒するおそれがありますので絶対にお止めください。

危険! 本製品の定める対象年齢以下のお子様には使用しないでください。
お子様の首周りが安定するまで、本製品の使用はお控えください。新生児期でのご使用は、「P.23 ベビートラベルシステム」をご利用ください。

危険! 本製品を停止する際は、必ずフットブレーキで確実に車輪を止めてください。
車輪の固定が不完全だったり、不意にハンドルから手を離すと、本製品が自走したり転倒したりなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

危険! 走行中は絶対にフットブレーキを掛けないでください。
フットブレーキは車輪の回転を完全に停止させる構造のため、急停止により本製品が転倒するおそれがあります。

危険! 本製品が正しく組み立てられていることを必ずご確認のうえ使用してください。
不完全なまま本製品を使用すると、不意に折りたたまれたり、タイヤが脱輪するなどして、お子様や保護者様がケガをするおそれがあります。

危険! お子様を乗せたまま本製品を持ち上げたり持ち運んではいけません。
お子様が本製品から転落したり、保護者様が転倒して思わぬケガをするおそれがあります。

危険! 適切な歩行速度 (時速３～4km 目安) でご使用ください。
ジョギングやマラソン。自転車やバイク、自動車で本製品を牽引したりなど、歩行速度以上で使用すると本製品が転倒するおそれがあり、大変危険ですので絶対にお止めください。

危険! ハンドルやサンキャノピーに、荷物などの重い物を乗せないでください。
安定性を損ない本製品が転倒するおそれがあります。また、市販のベビーカー用吊り下げフックにつきましても使用はお控えください。

危険! 本製品を操作する際は、フットブレーキで確実に車輪を止めてください。
走行中以外は本製品を停止させた状態で操作を行ってください。本製品が自走したり転倒したりなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

危険! 本製品をエスカレーターや階段で昇降してはいけません。
本製品からお子様が転落したり、本製品が落下してお子様や保護者様並びに周囲の人や物に重大な被害を与えるおそれがあります。

危険! お子様を乗せるときは、必ず５点式シートベルトを装着させてください。
また、シートベルトを装着した後は、必ず全ての接続箇所をご確認ください。

危険! 悪路や坂道の通行中は絶対にハンドルから手を離さないでください。
本製品が転倒したり、お子様が転落したりなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。

危険! 本製品を使用する前に毎回必ず点検を行ってください。
故障や異常を感じる箇所がありましたら直ちに使用を中止し、本書裏面に記載の当社サポートデスクまでお尋ねください。

危険! サンキャノピーやハンドルバーを掴んで本製品を持ち上げないでください。
留め具が破損したり、変形したりするほか、本体が落下してお子様をはじめ周囲の人や物に重大な被害が発生するおそれがあります。

危険! 暖房器具など高熱を発する場所に長時間放置してはいけません。
フレームやシートが熱を帯び、本製品に破損や変形が生じるほか、お子様や保護者様が高熱に触れて火傷をするおそれがあります。

危険! いかなる場合であっても本製品を改造して使用することはおやめください。
当社の定める保証適用外となるだけでなく、本製品の安全性を著しく損なうおそれがあります。

警告! 長時間の連続使用は、お子様の負担になります。
連続使用は１時間程度を目安として、本製品から降ろして適宜休ませてください。また、お子様の体調が悪いときは本製品の使用をお控えください。

警告! 雷や台風などの悪天候のときは本製品の使用をお控えください。
本製品に落雷したり、強風で転倒したりなど事故の危険が高まります。

警告! 長期間保管するときは、本製品の上に物を載せないでください。
長期間継続しての加重は、本製品が破損したり、故障の原因になります。

危険! シートの上にお子様を立ち上がらせないでください。
お子様が転落したり、本製品が転倒するおそれがあります。

危険! 走行中は必ずリストストラップを着用してください。
リストストラップは本製品の自走を防ぐための安全用具です。忘れずに着用してください。

危険! 本製品を操作するときは、お子様から離れた場所で行ってください。
本製品が倒れてお子様に衝突したり、フレームやタイヤのすき間に手や指を挟んだりなど、思わぬケガをするおそれがあります。

危険! 自動ドアを通行するときは、挟まり事故にご注意ください。
特に電車やバスなどの駆け込み乗車は、挟まり事故の危険が高まり、大変危険ですので絶対にお止めください。

危険! 本製品の外箱や包装袋類、部品などをお子様に触れさせないでください。
お子様がケガをしたり、誤飲などによる窒息事故につながるおそれがあります。部品類はお子様の手の届かない場所に保管してください。

警告! 電車やバスなどの公共交通機関は自己責任の元でご利用ください。
周囲の迷惑とならないよう安全とマナーを守りご利用ください。また転倒には十分にご注意ください。

警告! お子様を乗せる以外の目的で本製品を使用しないでください。
本製品に愛犬や荷物を載せて使用したい場合は、別売の各専用製品と本製品のシートを乗せ換えてお使いください。

警告! 積雪地や泥地などの悪路は出来るだけ避けて正常な道を走行してください。
やむをえず悪路を走行するときは、ハンドルをしっかり握り、転倒にご注意ください。

警告! 屋外で長期間放置すると本製品が劣化するおそれがあります。
直射日光や雨・風に当たる場所で長期間放置すると変色や錆などの劣化の原因になります。

各頁にも同様の注意事項に関する記載があります。併せてご確認の上本製品を正しく安全にお使いください。
記載事項についてご不明な点がありましたら、本書裏面記載の当社サポートデスクまでお問い合わせください。

製品の内容

本製品は下記の内容で構成しております。
本製品をはじめて開封した際に、このページの一覧とお手元の製品に欠品や不良がないか、ご使用前に予めご確認ください。万が一欠品や不良を発見した場合は、お手数ではございますが、本書裏面に記載の当社サポートデスクまでお尋ねください。
※製品の出荷時期により、一部内容が異なる場合がございます。
※非正規取扱品及び中古・新古品をご購入の場合は、初回開封時の欠品・不良による保証の対象外です。

本体

本体にはフレームに、
- **前輪**
- **シート**
- **ショルダーベルト・パッド**
- **サンキャノピー**
- **ショッピングバスケット**
- **ドリンクホルダー**
- **リストストラップ**

が予めセットされた状態で出荷されております。

後輪 ×2

フロントバー

レインカバー

エアポンプ

取扱説明書

ユーザー登録セット

注意! **不足品や初期不良が確認された場合は、ご購入後1ヵ月以内に当社サポートデスクまでご連絡ください。**
部品の在庫状況によっては交換などに時間を要したり、別品にてご提案させていただく場合があります。予めご了承ください。

スペック

製品名	エアバギーココ
サイズ	起立時：幅 56cm 全長 93.5cm 高さ 103cm 折畳時：幅 56cm 奥行き 33cm 高さ 82cm
重　量	8 kg
耐荷重	20kg まで（お子様の体重：15kg ＋荷物の重量：5kg）
対象年齢	首すわり（生後３～５ヵ月頃）～３歳位まで
安全基準	欧州安全基準「EN 1888」適合
製　造	台湾 / 中国
アクセサリー （標準装備）	フロントバー / ドリンクホルダー / ショッピングバスケット / レインカバー / エアポンプ / リストストラップ
オプション （別売品）	ストローラーマット / ブレスエアーマット / フットマフ / Maxi-Cosi 新生児用チャイルドシート (Maxi-Cosi Pebble/CabrioFix) Maxi-Cosi チャイルドシート取付アダプター AirBuggy for Dog(DOME S/SM/M) /DOME 専用取付アダプター (S/SM&M) AirBuggy 3 in 1 マルチバスケット

各部の名称

本書では、本製品の各部名称を下図のように表記しております。
本書の説明にご不明な点がありましたら、あわせてご参考ください。

Ⓐフレーム
Ⓑハンドル
Ⓒ折りたたみレバー
Ⓓサンキャノピー
Ⓔピーカブ―ウィンドウ
Ⓕフロントバー
Ⓖフットレスト
Ⓗショッピングバスケット
Ⓘドリンクホルダー
Ⓙバックストラップ

Ⓚ前輪
Ⓛ後輪
Ⓜ後輪着脱ボタン
Ⓝバルブ
Ⓞフットブレーキペダル
Ⓟ自立スタンド

Ⓠショルダーベルト
Ⓡショルダーパッド
Ⓢ腰ベルト
Ⓣ股ベルト・パッド
Ⓤバックル

Ⓥレインカバー
Ⓦエアポンプ
Ⓧリストストラップ

AirBuggy 3 in 1

本製品は、優れた耐久性のフレームと、快適でスムーズな走行性のエアタイヤをベースとして、「ベビーカー」「ドッグ用バギー」「ショッピングカート」の3通りから用途に合わせてお使いいただけるベビーカーの新しいコンセプト「AirBuggy 3 in 1」に対応しています。

お子様がベビーカーを卒業した後も、愛犬とのお散歩やスーパーへのお買い物など、多彩に使える「ライフバギー」として本製品をご活用いただけます。

当社は「AirBuggy 3 in 1」を通じて、これからの未来のために、皆様に良い物をより永くお使いいただくことで地球環境に配慮する「使い続けるエコ」を提案します。

快適にお使いいただくために

AirBuggy 製品は、地面からの衝撃を吸収するエアタイヤによって、スムーズな走行性を実現しています。
本製品の最大の特長である「快適な走行性」で、ファミリーのお出かけを存分にお楽しみいただくために。 また、安心して本製品をお使いいただくためにも、定期的なエアタイヤのメンテナンスをお願いいたします。

エアタイヤのメンテナンス

タイヤの空気圧を確認する

タイヤが下記のような状態であれば、すぐに空気を補充してください。

1 親指でタイヤの溝を押すと、張りがなく緩く弾む。

2 タイヤとホイールの中心位置がずれている。

3 バルブがタイヤの中に陥没している。
※「次項：タイヤのトラブルシューティング」をご確認ください。

タイヤが下記のような状態であれば、バルブから空気を抜いて適切な空気圧に調整してください。

1 親指でタイヤの溝を押すと固く弾力が全くない。

2 走行中にタイヤが地面を滑る感触がある。

注意! 空気圧の目安は測定値で 8 ～ 10kPa 程度です。
目安から大きく前後すると走行性を損ない、タイヤの摩耗やパンク・破裂が発生しやすくなります。

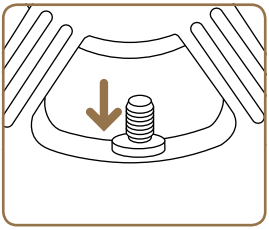
タイヤの空気を補充する

1 エアポンプのホースを注入口に接続する。

2 バルブとホースを接続して緩みがないことを確認する。

3 ホースを真っ直ぐ延ばしゆっくりと空気を入れる。

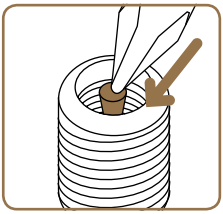
4 空気が適正に補充されたらバルブからホースを素早く取り外し、バルブキャップを閉める。
※バルブからホースを外すときに若干空気が漏れますが､バルブの特性であり故障ではありません。ホースを外すと漏れは止まります。



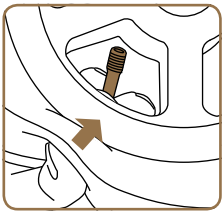
バルブがタイヤ内に陥没した場合の対処法

タイヤの空気が少ないまま使用されますと、まれにバルブがタイヤの中に陥没し、空気を入れにくい状態になります。バルブがタイヤの中に完全に陥没してしまいますと、タイヤ内のチューブ交換が必要となる場合がありますので、このような問題が発生する前に下記の手順を参考にバルブを元の状態に修復してください。

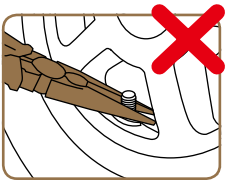
※この問題は、本来密着しているチューブとホイールの間に、タイヤの空気が減少することによって隙間が生じるために発生します。 タイヤの空気が適正な状態で使用されていれば、通常この問題が発生することはありません。



1 バルブ先端の内側にあるバルブ栓を、爪先やドライバー等で軽く押し込みます。「シュー」という音と共にタイヤ内の空気が抜けていきますので、音が止むまで空気を抜いてください。



2 バルブの根元にあたる付近のタイヤを指で強く押して、陥没したバルブを外に押し出すように露出させます。バルブの先端が外側を向くまで露出したら、付属のエアポンプを使って空気を補充します。



警告! タイヤの内側に入り込んだバルブを、ペンチなどの工具を使って無理に引き出そうとすると、バルブ内の弁が変形して空気が漏れたり、外側に傷がつきエアポンプを装着できなくなるおそれがありますので、絶対におやめください。

空気がうまく入らないときの対処法

タイヤにうまく空気が入らない場合、原因を特定するために先ずは以下の点をご確認ください。

- ●エアポンプ・ホース・バルブがそれぞれ正しく接続していますか？
- ●バルブやタイヤから空気が漏れる音がしますか？
- ●他のタイヤでもお試しいただき、正しく空気が入りますか？
- ●バルブ･タイヤ･エアポンプに傷や損耗、変形はありますか？

空気が入らない主な原因として、エアポンプとバルブの接続不良。タイヤのパンク。エアポンプの故障が挙げられます。上記の確認事項で原因が特定できない場合は、当社サポートデスクまでお尋ねください。

パンクかな？と思ったら

エアバギーのタイヤは通常空気を一回補充すると１ヵ月程度維持しますが、補充後すぐに空気が抜けてしまう場合は、パンクや空気漏れが発生している可能性があります。以下の方法でタイヤを修復してください。

タイヤの空気がすぐに抜けてしまう。

内部のチューブが破損（パンク）した可能性があります。お近くのサイクルショップで修理をご依頼いただくか、(市販のタイヤと口径が異なるため修理をお断りする店舗様もございます。ご依頼の前には必ず店舗様の対応状況をご確認ください。）または当社サポートデスクまで修理をご依頼ください。

※当社修理の場合は修理代金の他、当社までの送料をお客様のご負担とさせていただいております。

警告! サイクルショップで修理した場合、コンプレッサー（自動空気入れ機）は絶対に使用しないでください。過度に空気が入りチューブが破裂するおそれがあります。必ず付属のエアポンプをご使用ください。

タイヤの空気が２～３日程度で抜けてしまう。

バルブ内の栓が緩んでいる可能性があります。米式バルブコアリムーバー（自転車用品店または当社までお求めください。）を用いてバルブ内の栓を締めてください。それでも空気が抜ける場合はチューブに破損が生じた可能性があります。上記「タイヤの空気がすぐに抜けてしまう」を御参照ください。

本体の開き方・折りたたみ方

本体を開く

1 ハンドルを上に持ち上げます。

2 「カチッ」と音がして、フレームの可動部がロックされます。

3 ハンドルを軽く前後・上下に動かし、本体が折りたたまれないか確認します。

危険!

お子様を乗せる前には必ず本体が正しく起立していることを予めご確認ください。
確認を怠ると使用中に本体が不意に折りたたまれてお子様がケガをするおそれがあります。

本体を起こすときは、お子様から離れて行ってください。
お子様が手や指を挟んだり、本体が倒れてお子様に衝突したり思わぬ事故につながるおそれがあります。また、お子様には本製品の組み立てや操作を絶対にさせないでください。

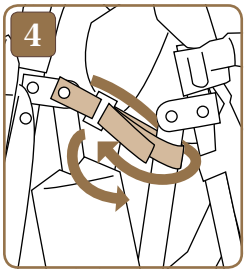
警告!

本体を開閉するときは絶対に可動部に手や指を置かないでください。
可動部のすき間に挟まれ思わぬケガをするおそれがあります。

何かに引っ掛かる感じがするなどスムーズに開かない場合は一旦折りたたみ、再度お試しください。
可動部やフレームにシート生地やストラップなどが引っ掛かっている場合があります。その場合は無理に開こうとせず、一旦折りたたみ、引っ掛かる箇所を確認した上で再度行ってください。無理に開こうとするとシートやストラップが破損したりフレームが変形するおそれがあります。

本体を折りたたむ

※「次項:タイヤの取り付け・取り外し」を予めご参照の上、後輪タイヤを両輪とも装着してください。



1 ブレーキペダルを下に倒し、自立スタンドを縦に向けます。
※ 自立スタンドは折りたたみ時の自立用装置です。ブレーキを使用する際は自立スタンドを横向きの状態でお使いください。滑りやすかったり傾斜のある床などでは、自立スタンドを使用しても転倒するおそれがありますので、壁面に立てかけるか自立スタンドの下に新聞紙や段ボールなどを置いて安定させてください。

2 ハンドルの両端側にある折りたたみレバーを握ります。

3 折りたたみレバーを握ったままハンドルを下に向けて倒します。

4 右横の折りたたみ用ストラップを図のように巻き付けてフレームを固定します。

警告!

本体を開閉するときは絶対に可動部に手や指を置かないでください。
可動部のすき間に挟まれ思わぬケガをするおそれがあります。

何かに引っ掛かる感じがするなどスムーズに折りたためない場合は一旦開き、再度お試しください。
可動部やフレームにシート生地やストラップなどが引っ掛かっている場合があります。その場合は無理に折りたたもうとせず、一旦本体を開き、引っ掛かる箇所を確認した上で再度行ってください。無理に折りたたもうとするとシートやストラップが破損したりフレームが変形するおそれがあります。

タイヤの取り付け・取り外し方

後輪タイヤを取り付ける

1 ブレーキペダルが下に降りている場合は、上に持ち上げます。

2 ブレーキペダルの車輪留め部分に図の保護キャップが装着している場合は取り外します。

3 進行方向に向かってタイヤの溝が「V」の字を描くように左右後輪の向きを確認します。

4 ホイール中央の着脱ボタンを押しながら後輪差し込み口に後輪の車軸を奥までしっかり差し込みます。

危険!

全てのタイヤを確実に装着するまでは絶対にお子様を乗せないでください。
お子様や本製品が転倒するおそれがあります。

タイヤの取り付け・取り外しを行うときはお子様から離れた場所で行ってください。
お子様が手や指を挟んだり、本体が倒れてお子様に衝突したり思わぬ事故につながるおそれがあります。また、お子様には本製品の組み立てや操作を絶対にさせないでください。

警告!

保護キャップはお子様の手の届かない場所に保管してください。
保護キャップは本製品を保管する際に車輪留めの先端をカバーするものです。保護キャップを保管する際はお子様が悪戯しないように保管場所にご注意ください。

後輪タイヤを取り外す

1 ブレーキペダルが下に降りている場合は、上に持ち上げます。

2 後輪ホイールの中心にある後輪着脱ボタンを奥までしっかり押します。

3 着脱ボタンを押したまま、後輪を引き抜きます。

4 本体を保管する際は保護キャップをフットブレーキの車輪留め先端に差し込みます。

危険!

タイヤを取り外す際は必ず本製品からお子様を安全な場所に降ろしてから行ってください。
お子様を乗せたままタイヤを取り外すと、お子様が転落したり本製品が転倒するおそれがあり、大変危険ですので絶対にお止めください。

シートの取り付け・取り外し方

※シートは予め本体に装着されています。

シートを取り付ける

1 シート両端の図のホックをフレームの両端に位置するホック留めに合わせてそれぞれ取り付けます。

2 シート前方の裏側にあるストラップをそれぞれ図のように留めます。

3 シート座面部の裏側にあるバックストラップを図のようにフレームに装着します。

危険! **シートの取り付け後は正しく取り付けられたか確認するまでは絶対にお子様を乗せないでください。**
確認を怠ると使用中にシートが脱落したり、お子様が転落するおそれがあります。

警告! **可動部のカバーは必ず装着してください。**
この部分はシートをより確実に取り付ける目的のほか、可動部から手や指を挟む危険を避ける役割もあります。取り付け時は折れやねじれがないか併せてご確認ください。

シートを取り外す

1 シートの座面裏にあるバックストラップを取り外します。

2 シートの前方裏側にあるストラップをそれぞれ取り外します。

3 シート両端のホックを下から順番に取り外します。

危険! **シートを取り外す際は必ず本製品からお子様を安全な場所に降ろしてから行ってください。**
お子様を乗せたままシートを取り外すと、お子様がシートから転落してケガをするおそれがありますので絶対にお止めください。

フロントバーの取り付け・取り外し方

フロントバーを取り付ける

1 可動部のカバーを開きます。

2 フロントバー両端のブラケットを開きます。

3 本体の正面からフロントバー両端のフックをフレームに合わせて右に向けて差し込みます。

4 フロントバー両端のブラケットをしっかり閉じて可動部のカバーを閉じます。

危険!

フロントバーを装着した状態であっても必ずお子様にシートベルトを着用してください。
フロントバーはお子様の飛び出しを防ぐためのものですが、より確実にお子様を支えられるシートベルトは、本製品を安全にお使いいただくために必要な装置ですので必ずお子様に着用させてください。

フロントバーを掴んで本製品を持ち上げたり持ち運んだりしてはいけません。
不意に装着部分が外れて本体が脱落するおそれがありますので絶対にお止めください。

警告!

フロントバー装着部分のすき間に手や指を挟まないようご注意ください。
お子様を乗せたままの状態でフロントバーを装着するときは特にご注意ください。

可動部のカバーは必ず装着してください。
この部分はシートをより確実に取り付ける目的のほか、可動部から手や指を挟む危険を避ける役割もあります。取り付け時は折れやねじれがないか併せてご確認ください。

フロントバーを取り外す

1 可動部のカバーを開きます。

2 フロントバー両端のブラケットを開きます。

3 本体の正面からフロントバー両端のフックを左にスライドしてフレームから外します。

4 可動部のカバーを閉じます。

警告!

取り外したフロントバーはお子様の手の届かない場所に保管してください。
フロントバーを振り回して人や物に衝突したり、お子様がケガをするおそれがあります。

サンキャノピーの取り付け・取り外し方 ※サンキャノピーは予め本体に装着されています。

サンキャノピーを取り付ける

1 フレームの図の位置にサンキャノピーのフックを差し込みます。

2 ブラケットの先端をフックの引っ掛けに合わせ、装着レバーを上に向けて倒します。

3 キャノピーカバーのマジックテープとホックを対応するシート側のマジックテープとホックで留めます。

危険!

サンキャノピーを掴んで本製品を持ち上げたり持ち運んだりしてはいけません。
不意に装着部分が外れて本体が脱落するおそれがありますので絶対にお止めください。

キャノピーカバーとシートを必ず留めた状態でご使用ください。
キャノピーカバーは、シートを倒して使用するときに万が一本製品が後方に転倒した際、お子様の転落を防ぐために必要な安全装置です。必ずマジックテープとホックで留めた状態でご使用ください。

警告!

サンキャノピー装着部分のすき間に手や指を挟まないようご注意ください。
お子様を乗せたままの状態でサンキャノピーを装着するときは特にご注意ください。

サンキャノピーを取り外す

1 キャノピーカバーのマジックテープとホックをシートから外します。

2 装着レバーを下に向けて倒します。

3 ブラケット先端をフックの引っ掛けから外してブラケットを開きます。

4 サンキャノピーをフレームからゆっくり外します。

警告!

取り外したサンキャノピーはお子様の手の届かない場所に保管してください。
サンキャノピーを振り回して人や物に衝突したり、お子様がケガをするおそれがあります。

ショッピングバスケットの取り付け・取り外し方

※ショッピングバスケットは予め本体に装着されています。

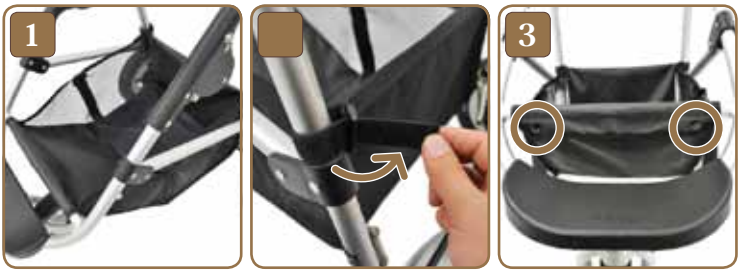
ショッピングバスケットを取り付ける

1 シート装着済みの場合は前方裏側のストラップを外して前方のシートを開きます。

2 ショッピングバスケット前方のホックを留めます。

3 ショッピングバスケット後方のストラップを図のようにして留めます。

ショッピングバスケットを取り外す



1 ショッピングバスケットの中身に何も入っていないことを確認します。

2 後方のストラップをそれぞれ外します。

3 前方のホックを外します。

危険! **ショッピングバスケットの耐荷重は 5kg までです。**
耐荷重以上の荷物を入れたり、積載スペース以上の大きさの荷物を入れるとバランスを崩し転倒するおそれがありますので絶対にお止めください。

警告! **後方のストラップとフレームのすき間に手や指を挟まないようご注意ください。**

ドリンクホルダーの取り付け・取り外し方 ※ドリンクホルダーは予め本体に装着されています。

ドリンクホルダーを取り付ける

1 フレームの図の位置にドリンクホルダーのストラップを巻き付けるようにして留めます。

2 ドリンクホルダーのストラップは上下で2箇所あります。もう一方も同じ方法でフレームに留めます。

警告! **ストラップとフレームのすき間に手や指を挟まないようご注意ください。**

ドリンクホルダーを取り外す

1 ドリンクホルダーが空であることを確認した後、ストラップを外します。

2 ドリンクホルダーのストラップを下・上の順に外してドリンクホルダーをフレームから取り外します。

注意! **ドリンクホルダーの中に何も入っていないことを確認してから取り外してください。**

ベビーカーでの歩き方

前進する

ハンドルを両手でしっかり握り、ゆっくりと前進します。

方向転換する

前方を進みたい方向に向けてゆっくりと進みます。
360° 回転式前輪によって、前輪を持ち上げることなくスムーズな方向転換が可能です。

後退する

ハンドルを両手でしっかり握り、後方を確認しながら慎重に後退するか、後方まで方向転換して進みます。

危険!

安全運転を心掛けてください。
急発進や急停止を避け、適切な歩行速度（目安：時速 3 ～ 4km）でお使いください。走ったり蛇行したり急旋回など、危険を伴うおそれのある操縦は絶対にお止めください。

歩行中は必ずリストストラップを着用してください。
リストストラップはベビーカーを操縦する方がハンドルから不意に手を離したときに自走してしまう危険を避けるための安全用具です。P.「リストストラップ」を参考に必ず着用してください。

警告! **以下の場所では特に慎重な歩行をお願いします。**
・雨道　・雪道　・坂道　・人混み　・砂利道　・海岸　・草原

後輪ブレーキのロックと解除

ブレーキのかけ方

1 後輪ブレーキペダルを足で踏み降ろします。

2 ブレーキ先端が車輪止めの溝にはまり、車輪の回転が固定されます。

危険!

走行中は絶対にフットブレーキをかけないでください。
車輪が急停止して本製品が転倒したり、お子様が転落するおそれがあります。

ブレーキを解除する

1 ブレーキペダルを足の先で持ち上げます。

2 車輪止めの溝からブレーキ先端が外れ、車輪が回転可能な状態になります。

危険!

ハンドルをしっかり握り、周囲の安全を確認してから解除してください。
ハンドルから手を離した状態で解除すると自走するおそれがあり大変危険ですので絶対にお止めください。また、発進時は飛び出し事故を防ぐため必ず周囲をご確認ください。

警告!

本製品の使用中は自立スタンドを横に向けた状態でお使いください。
ブレーキをかけたり解除したりするときに、自立スタンドが縦の状態だと足元に引っ掛かったり、自立スタンドに負荷がかかり破損するおそれがあります。

シートベルトの装着と調整

シートベルトを装着する

1 後輪ブレーキをかけて、シートにお子様を座らせます。

2 ショルダーベルト先端のフックを腰ベルトのバックルの上に引っ掛けます。

3 腰ベルトのバックルを股ベルトのバックルの両端にそれぞれ差し込みます。

4 バックルが正しく装着されているか、軽く引っ張り確認します。

危険!

お子様を乗せるときは必ずシートベルトを着用してください。
ショルダーベルト・腰ベルト・股ベルトを全て正しくお子様に着用してください。誤った装着方法や着用を怠ると、お子様が本製品から転落したり、お子様の動作で本製品が転倒するおそれがあります。

警告!

ご使用前に各ベルトに傷や破損がないか必ず確認してください。
断裂のおそれのある傷や破損が見受けられた場合はすぐに本製品の使用を中止し、本書裏面に記載の当社サポートデスクまでお問い合わせください。

シートベルトの装着と調整 つづき

シートベルトを解除する

1 股ベルトバックルの中心にある解除ボタン(図の赤点箇所)を押して、腰ベルトのバックルを外します。

2 必要であれば腰ベルトのバックルからショルダーベルトのフックを外します。

警告!

走行するときはショルダーベルトを外さないでください。
ショルダーベルトの高さを変えるときや、ショルダーパッドを取り付け・取り外すとき以外はショルダーベルトと腰ベルトは連結した状態でお使いください。

ショルダーベルトの長さを調整する

1 ショルダーベルトのホックを外してショルダーパッドを取り外します。

2 ショルダーベルトを短くする場合は、スライダーを背もたれ側 (上) に向けてスライドさせます。

3 ショルダーベルトを長くする場合は、スライダーをバックル側 (下) に向けてスライドさせます。

4 適正な長さに揃えたらショルダーパッドを取り付けてホックをバックルに留めます。

腰ベルトの長さを調整する

1 腰ベルトを短くする場合は、スライダーを背もたれ側 (外側) に向けてスライドさせます。

2 バックルの図の位置を指で押しながらベルトの弛みをなくします。

3 腰ベルトを長くする場合は、スライダーをバックル側 (内側) に向けてスライドさせ、2 の方法でベルトの弛みをなくします。

警告!

お子様の体型に合わせて、適宜長さの調整を行ってください。
ベルトが短すぎたり長すぎたりすると、お子様の体調を損ねたり、安全性を損なうおそれがありますのでご注意ください。

股ベルトの長さを調整する

1 股ベルトを短くする場合は、スライダーを座面側(下)に向けてスライドさせます。

2 股ベルトを長くする場合は、スライダーをバックル側(上)に向けてスライドさせます。

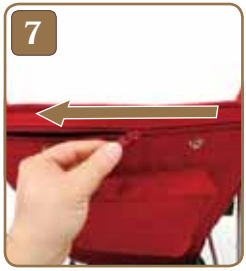
ショルダーベルトの高さを調整する

1 ショルダーベルトの付け根の位置は3段階から調整できます。

2 腰ベルトのバックルからショルダーベルトのフックを外し、ショルダーパッドをベルトから取り外します。

3 背もたれ上部のジッパーを開き、中の背板とショルダーベルトをゆっくり抜きます。

4 背板からショルダーベルトを外して、適切な高さの通し穴からベルトを通し直します。



5 背板を背もたれの中に戻します。

6 ショルダーベルトを変更した高さの通し穴から通し直します。

7 背もたれ上部のジッパーを閉じます。

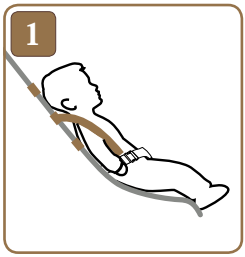
8 ショルダーパッドをベルトに取り付け、先端のフックを腰ベルトに装着します。

警告! **背板の通し穴の位置とシートの通し穴の位置を合わせて装着してください。**
通し穴の位置が異なると、シートの通し穴が破れたり、背板がずれて乗り心地を損ねるおそれがあります。

リクライニングの調整

本製品は背もたれの角度を 110°・135° の2段階で調整が可能です。
お子様の首周りが安定してからはシートの角度を 135° に倒して（目安：生後3〜4カ月位から）、お子様の腰周りが安定して、お座りが出来るようになったらシートの角度を 110° に起こして（目安：生後6〜7カ月位から）お使いください。

シートを倒す 角度 135°

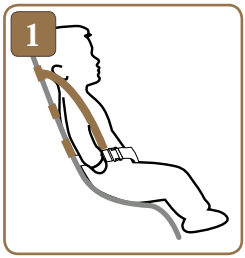


1 シートを倒したときの角度は 135 度になります。

2 背もたれの裏側を手で抑えながら左右のファスナーをゆっくり下に向けて開きます。

危険! **お子様の首周りが安定してから、本製品をお使いください。**
生後3〜4カ月位が目安となりますが、成長の個人差により使用できる時期が異なりますので、ご判断の上お使いください。

シートを起こす 角度 110°



1 シートを起こしたときの角度は 110 度になります。

2 背もたれの裏側を手で抑えながら左右のファスナーをゆっくり上に向けて閉めます。

危険! **お子様がひとりで座れるようになってから、シートを起こした状態をお使いください。**
生後6〜7カ月位が目安となりますが、成長の個人差により使用できる時期が異なりますので、ご判断の上お使いください。

危険! **必ず後輪ブレーキをかけてからリクライニング調整を行ってください。**
不意に本製品が動き出し、転倒したりお子様が転落するおそれがあります。

警告! **リクライニングを調整する間は背もたれを手で支えながら行ってください。**
シートが傾いたり、シートを倒したときの衝撃がお子様に伝わるおそれがあります。

サンキャノピーの使い方

サンキャノピーの開閉

1 開き方：サンキャノピーを前方に倒します。
閉じ方：サンキャノピーを後方に倒します。

2 開き方を4段階に調整できます。

ピーカブ―ウィンドウ

1 ウィンドウのカバーのマジックテープを開き、カバーを上に巻き上げます。

2 内側にあるゴムで外側の引っ掛けを留めます。

警告! **サンキャノピーの上に物を乗せないでください。**
故障や不良の原因となります。

サンキャノピーの使い方 つづき

キャノピーカバー

キャノピーの後方にあるカバーは、シートを倒して使用するときに万が一本製品が後方に転倒した際、お子様の転落を防ぐために必要な安全装置です。シートを倒して使用するときは次の手順で必ず装着してください。

2 シート裏面上部のマジックテープとホックをキャノピーカバー内側下部のマジックテープとホックで留めます。

3 背もたれ外側上部のマジックテープとキャノピーカバー両端の裏側にあるマジックテープを留めます。

通気性を高める

1 キャノピーカバーの表地を捲り、内側のゴムで外側の引っ掛けを留めます。

2 メッシュ生地のカバーになります。夏の暑い時期にシートを倒した状態で前方からの風が後方に吹き抜けて通気性が高まります。

危険!

キャノピーカバーは必ず装着した状態で本製品をお使いください。
シートのリクライニングを問わず、キャノピーカバーとシートは必ず繋がった状態でお使いください。特に内側のメッシュ生地のカバーは、表地のカバーを取り付けている状態であっても絶対にシートから外さないでください。

ショッピングバスケットの使い方

1 後方から荷物の出し入れが出来ます。

2 横のファスナーを開くことで、側面からでも荷物の出し入れが行えます。

危険!

耐荷重は 5kg までです。
耐荷重以上の荷物を入れたり、積載スペース以上の大きさの荷物を入れるとバランスを崩し転倒するおそれがありますので絶対にお止めください。

ドリンクホルダーの使い方

1 留め具のボタンを押しながら紐の先にスライドし、ドリンクホルダーの口を開きます。

2 中に収納した後は、留め具のボタンを押しながら紐の付け根にスライドしてドリンクホルダーの口を閉めます。

警告!

500g 以上のものを収納しないでください。
ドリンクホルダーは哺乳瓶やペットボトルを収納するためのものです。重量のある物や収納サイズ以上の大きさの物は入れないでください。

リストストラップの使い方

1 ハンドルの付け根付近に図のようにリストストラップの端を通して引っ掛けます。

2 反対側の端の輪に手首を通します。手首に合わせて2種類の輪のサイズから選んでお使いください。

危険!

歩行中は必ずリストストラップを着用してください。
ハンドルから不意に手を離したときに自走してしまう危険を避けるための安全用具です。忘れずに着用してください。

レインカバーの取り付け・取り外し方

レインカバーを取り付ける

1 図の向きで本体にレインカバーを被せます。

2 ハンドルとシートの間にレインカバーの後方をくぐらせます。

3 側面をマジックテープで留めます。

4 レインカバーの前方をフットレストの上から被せて裏側のストラップを留めます。

レインカバーを取り外す

危険!

必ず後輪ブレーキをかけてから取り付け・取り外しを行ってください。
不意に本製品が動き出し、転倒したりお子様が転落するおそれがあります。

1 前方裏側のストラップを外します。

2 側面のマジックテープを外します。

3 後方にくぐらせた部分からゆっくりと引き抜き、レインカバーを取り外します。

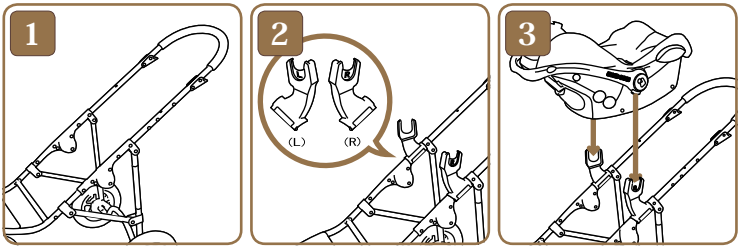
前方左右のファスナーを開くことで、レインカバーを装着した状態でもシートに座ったお子様のお世話をすることができます。夏の暑い時期などでは、シート内の換気と温度や湿度を調整するためにも定期的に開放してください。
また、雨天の外出時では、ファスナーが開いていると雨が漏れてお子様が濡れるおそれがありますのでご注意ください。

ベビートラベルシステム

本製品は、AirBuggy 3 in 1 コンセプト対応ベビーカーであるほか、オランダ製チャイルドシートとドッキングして、新生児用の対面式ベビーカーとしてもお使いいただける「ベビートラベルシステム」に対応しています。

ベビートラベルシステムをご利用になるためには、別売の新生児用多機能チャイルドシート「Maxi-Cosi CabrioFix」または「Maxi-Cosi Pebble」のほかに、別売の「Maxi-Cosi チャイルドシート取付アダプター」が必要です。

チャイルドシートを取り付ける



1 本体からシートとサンキャノピーを取り外します。

2 図の位置に Maxi-Cosi チャイルドシート取付アダプターを取り付けます。ベビーカーの「正面」に向かって右側に「R」、左側に「L」が書かれたアダプターを装着し、付属の留め具をフックの穴に通します。

3 チャイルドシートのハンドルを立てて付け根にある差込口とアダプターの先を合わせて装着します。チャイルドシートの差込口の奥までアダプターがしっかり挿入されると「カチッ」と音がして着脱ボタンが上がります。

危険!

チャイルドシート・アダプターの使用方法は商品に付属の取扱説明書をご確認ください。
誤った取り付け方をするとチャイルドシートを正しく装着できないだけでなく、使用中に不意にチャイルドシートが脱落したり、本製品が転倒したりするおそれがあります。

必ず後輪ブレーキをかけてから取り付け・取り外しを行ってください。
不意に本製品が動き出し、転倒したりお子様が転落するおそれがあります。

確実に取り付け・取り外しが完了するまでチャイルドシートから絶対に手を離さないでください。
取り付け・取り外しの最中にチャイルドシートから手を離すと、チャイルドシートが転落したり本製品が転倒するおそれがあります。

警告! **アダプター取付時やチャイルドシート装着時にすき間に手や指を挟まないようご注意ください。**

クリーニング

正しくお手入れしていただくことで本製品をより永く快適にお使いいただけます。
「P.8 エアタイヤのメンテナンス」と併せて、正しいお手入れ方法と保管方法をご確認ください。

また、本製品の使用中に破損や故障が生じた場合は、当社のメンテナンスセンターにて一括して修理を承ります。
修理のお申込み手順につきましてもお手入れ方法と併せてこちらの頁でご確認ください。

シートのクリーニング

1. 水または薄めた中性洗剤で濡らした後、よく絞った布で汚れを拭き取ります。
2. 汚れがひどい場合はフレームからシートを取り外し、背もたれの中にある背板とショルダーベルトを抜いた後、40° 以下のお湯または中性洗剤を希釈した水で優しく手洗いします。
3. 手洗い後はぬるま湯か水で十分にすすいだ後、形を整えて平干しまたはフレームに取り付けた状態で十分に乾かします。

注意!

洗濯機や乾燥機、ドライクリーニングは絶対に使用しないでください。
形が崩れて本製品を正しく使用できなくなるおそれがあります。

漂白剤入り洗剤は使用できません。
シートが色落ちするおそれがあります。

熱湯や長時間のつけ置き洗いはお止めください。
生地や中綿が傷んだり、変色したりするおそれがあります。また、熱湯は火傷をするおそれがあります。

サンキャノピーの生地は取り外さないでください。
キャノピーフレームからの取り外しに工具を要するほか、型崩れが起こりやすいため推奨しません。

フレームのクリーニング

1. 水または薄めた中性洗剤で濡らした後、よく絞った布で汚れを拭き取ります。
2. 乾いた布で残った水気を拭き取ります。

フレームには酸化皮膜処理を施しておりますが、錆が発生した場合はスチールウールなどで錆の部分を軽くこすって落とした後、錆止め剤を塗布してください。

注意!

シンナー・ベンジンなどの有機溶剤、アルコールなどの揮発性薬液、潤滑油、酸性・アルカリ性洗剤、熱湯を使用しての清掃は絶対にお止めください。
フレームが傷んだり変形したりするおそれがあるほか、薬液が残ることでお子様の健康を損なうおそれがあります。また、潤滑油の使用は動作に問題が生じた場合を除き使用はお控えください。

車輪のクリーニング

1. タイヤの表面やホイールに付いた汚れは水で濡らしてよく絞った布で拭き取ります。
2. タイヤの溝に挟まったゴミはタワシやブラシでこすり落とします。
3. バルブや車軸付近に錆が生じた場合はスチールウールなどで軽くこすって錆を落とした後、錆止め剤を塗布します。後輪ブレーキ付近に錆が生じた場合も同様に清掃します。
4. 清掃後は動作に問題がないか確認します。

その他の箇所のクリーニング

1. バックルやフレームの可動部は乾いた布で拭いた後、細部に溜まった汚れをエアダスターで除去します。
2. ベルトやストラップはシートと同様に水で濡らしてよく絞った布で汚れを拭き取ります。
3. ショッピングバスケット・ドリンクホルダーは本体から取り外し中に溜まった汚れを取り除きます。表面に付着した汚れは、シートと同様に水で濡らしてよく絞った布で拭き取ります。
4. 清掃後は動作に問題がないか確認します。

保管方法

注意! **下記の場所に長期間保管すると、本製品が劣化するおそれがあります。**
止むなく保管する場合は本製品にカバーを掛けて劣化を抑える必要があります。

高温・多湿な場所　直射日光にあたる場所　雨や風にあたる場所　海風にあたる場所

危険! **お子様の手の届く場所や棚などの高所に本製品を保管しないでください。**
本製品が転倒してお子様に衝突したり、人や物の上に転落するなど、思わぬ事故が発生するおそれがあるほか、本製品が破損するおそれがあるため大変危険ですので絶対にお止めください。

警告! **付属品や部品類はなくさないように大切に保管してください。**
部品類を紛失したまま継続して使用すると、本製品の正常な機能を損なうおそれがあります。

サポートデスクのご案内

製品に関するご質問や、他の製品･部品のご購入、修理のご用命などを当社サポートデスクにて承ります。

GMP サポートデスク

0120-178-363
営業時間：平日 10:00 ～ 17:00

音声ナビに従ってご希望の番号をダイヤルしてください。
1 製品に関するお問い合わせ　製品・部品のご購入　3 修理のご用命

メンテナンスセンターのご案内

本製品を使用中に破損や故障が生じた場合は、先ずは当社サポートデスクまでお問い合わせください。当社のスタッフが状況を確認し、修理が必要であれば当社の総合メンテナンスセンターをご案内します。

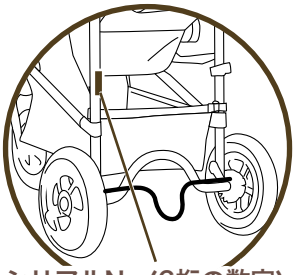
修理の申し込み

1. 当社サポートデスクまでお問い合わせください。当社専門スタッフに製品の状況をお聞かせください。
2. 修理を要する場合、当社メンテナンスセンターをご案内いたします。
3. メンテナンスセンターまで修理品をお送りください。専門の修理スタッフが状態を確認して対応いたします。
4. 修理状況や修理完了後の配送のお知らせをサポートデスクからお客様にご連絡させていただきます。
5. 修理済み製品がお手元に届きましたら、必ず動作確認を行った上でご使用ください。
6. 修理済み製品に再び問題が再現したり、他の不具合が生じた場合はサポートデスクまでご相談ください。

注意! **当社直営店や販売協賛店への修理品の持ち込みは対応できません。**
修理のご依頼につきましては、まずは当社サポートデスクまでご連絡ください。
直営店や販売協賛店では修理に必要な部材がないため、原則として持ち込みでの修理依頼をお請け出来ませんので予めご了承ください。

修理に要する日程や修理費用は修理の状況によって異なります。
サポートデスクにて修理の御相談を承った際にお応えできるのはおおよその目安です。修理品を確認し、修理日程や費用が算出された際に改めてご報告させていただく場合があります。

シリアル No について



登録ハガキにてユーザー登録を行う場合は、本製品に貼付された「シリアル No.」を、指定の記入欄にご記入ください。

左後輪タイヤ付近のフレームに貼られたシールに記載の6桁の番号

シリアル No. とは
工場での生産管理のために発行された番号です。万が一お客様の製品に不具合が発生した場合、このシリアル No. を元に生産状況を確認し、原因究明と再発防止に取り組みます。付属のライセンスシールに記載された登録番号とは異なりますのでご注意ください。また、お客様からのお問い合わせの際にこのシリアル No. を確認させていただく場合があります。

保証規定

対象
本製品の保証はフレームと本製品を構成する成型品に対して有効です。縫製品やタイヤの消耗部品に関しては、初期不良を除き保証の対象外とさせていただきます。

保証期間
本製品はお客様が販売店よりお買い上げいただいた日から起算して、フレーム２年間。シート・タイヤ（消耗部品を除く）１年間を保証の対象期間としております。

保証内容
本取扱説明書の使用方法に準じて適正に使用していたにも関わらず、本製品に故障や不良が発生した場合、保証期間に於いては無償でのアフターサポートを致します。 ただし本製品購入時の初期不良を除き、アフターサポートに必要な製品や部品の配送料はお客様のご負担とさせていただいております。 また、製品の搬送中によって生じた外箱の汚れや破損は保証の対象外となります。

初期不良について
本製品をお買い上げいただいた日から起算して１ヵ月以内の適用期間に於いて、開封後の点検時に製造上の不具合が発生していた場合は、初期不良として無償にてアフターサポートを致します。 初期不良の場合、アフターサポートに必要な製品や部品の配送料は弊社にて負担させていただきます。 ただし初期不良の適用期間を経過しての未使用時の不具合につきましては通常の保証内容として、製品や部品の配送料はお客様のご負担とさせていただきます。

交換について
原則として本製品開封後の交換はできません。 ただし未開封に限りお買い上げいただいた日から起算して２週間以内のお申し出に限り交換を承ります。 尚、この場合の配送に要する費用はお客様のご負担とさせていただきます。

修理・交換後の差異について
本製品を修理・交換する際に使用する部品は、これまでご使用の部品と異なる場合があります。 予めご了承ください。 尚、製品の使用上に於いては差し支えありません。

保証の対象外
以下に該当する要件につきましては無償・有償を問わず保証の対象外となります。
- ご家族やご友人、知人などから使用済みの本製品を譲り受けた場合。
- 弊社直営店及び販売協賛店以外の並行輸入店などで本製品を購入された場合。
- オークションなどの個人転売によって本製品を購入された場合。
- リサイクルショップなどで中古・新古の本製品を購入された場合。
- 弊社直営店や販売協賛店で本製品を購入された信憑が無い場合。

保証規定 つづき

有償保証となる場合

以下に該当する要件につきましては無償の保証期間に於いても有償での対応となります。

- 本取扱説明書に記載された内容に反した使用方法によって生じた破損や故障、不良の場合。
- お客様の過失によって生じた破損や故障、不良の場合。
- 水害・火災・地震などの自然災害によって生じた破損や故障、不良の場合。
- 本製品の自然劣化や正常な使用に於いて生じた傷や損耗の場合。
- 本製品を正常に使用するに於いて問題がないと判断される箇所に生じた傷や損耗の場合。
- お客様の過失によって生じた付属部品の紛失。

修理・交換後の差異について

本製品を修理・交換する際に使用する部品は、これまでご使用の部品と異なる場合があります。 予めご了承ください。 尚、製品の使用上に於いては差し支えありません。

保証の適用

本保証は日本国内でのみ有効です。

免責事項

お客様が「AirBuggy COCO（以下､本製品)」を購入し､はじめて使用するときを以て、本取扱説明書 (以下、本書) に記載の使用方法を正しく理解した上で、株式会社 GMP インターナショナル（以下、当社）が提示する以下の規約に合意したものとみなし、お客様個人の責任において本製品を使用するものとします。

免責事項

本書に記載の情報は当社の責任のもとに編集しておりますが、その内容は本製品の仕様変更を以て実際の使用方法と異なる場合があることを予めご了承ください。 本製品を安全に使用する上での注意事項が、本書の改変によりこれまでの記述に反することはありませんが、改変によって生じたいかなる損害にも、当社では一切の責任を負いかねます。
本書の指示に反した使用方法によって生じたいかなる損害にも､当社では一切の責任を負いかねます。また、本製品の使用者の故意や過失によって生じたいかなる損害にも、当社では一切の責任を負いかねます。

下記に示した事由により発生した損害につきましては当社では一切の責任を負いかねます。

- 保証期間を過ぎている場合。
- 初回ご購入者様以外の申告。 本体は同梱の製品登録番号にてお客様情報と併せて管理しております。
- 使用上の誤り、取扱いの不注意、および不当な修理や改造による故障および損傷。
- 火災・公害および地震・雷・風水害その他天災地変など、外部に原因がある故障および損傷。
- 自然劣化に起因する水濡れ・結露などによる腐食が発見された場合および破損・変形している場合。
- 当社指定以外の周辺機器および消耗品に起因する故障および損傷。
- 製品外部に傷、割れ等衝撃の形跡がある場合。
- 製品が原因の怪我、事故、火災等の二次災害。

当社では国内 PL 法に則りこれを遵守します。 併せて PL 法に基づく責任範囲につきましてもこれを遵守するものであることをご理解願います。

商標・著作権

日本国内における本製品の名称、意匠、仕様は全て当社の商標です。当社への書面による許可なく本製品及び本製品付属物の名称、意匠、仕様を複製、流用、盗用することを個人的目的及び営利目的を問わず固く禁じます。
本書に記載された内容の著作権は全て当社に帰属します。本書に記載された内容を当社の書面による許可なく営利目的で転載することを禁じます。

株式会社 GMP インターナショナル

http://www.airbuggy.com

製造・販売元

株式会社ＧＭＰインターナショナル

〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷 1-18-5 ＴＩビル

お問い合わせ

GMP サポートデスク

0120-178-363

営業時間：平日 10:00 ～ 17:00

AirBuggy COCO 取扱説明書

発行元：株式会社 GMP インターナショナル
Printed in China
2010 GMP International Co.,Ltd. All Right Reserved.

非売品

●本書に関するお問い合わせは、本書裏面に記載の当社サポートデスクまでお尋ねください。
●造本には万全を期しておりますが、万が一初回開封時から落丁・乱丁がありましたら、送料当社負担にて交換させていただきます。 お手数ではございますが、事前に当社サポートデスクまでご一報のうえ、当社まで本書をご返送ください。